

第30回 全国街路事業コンクール応募資料

様式1

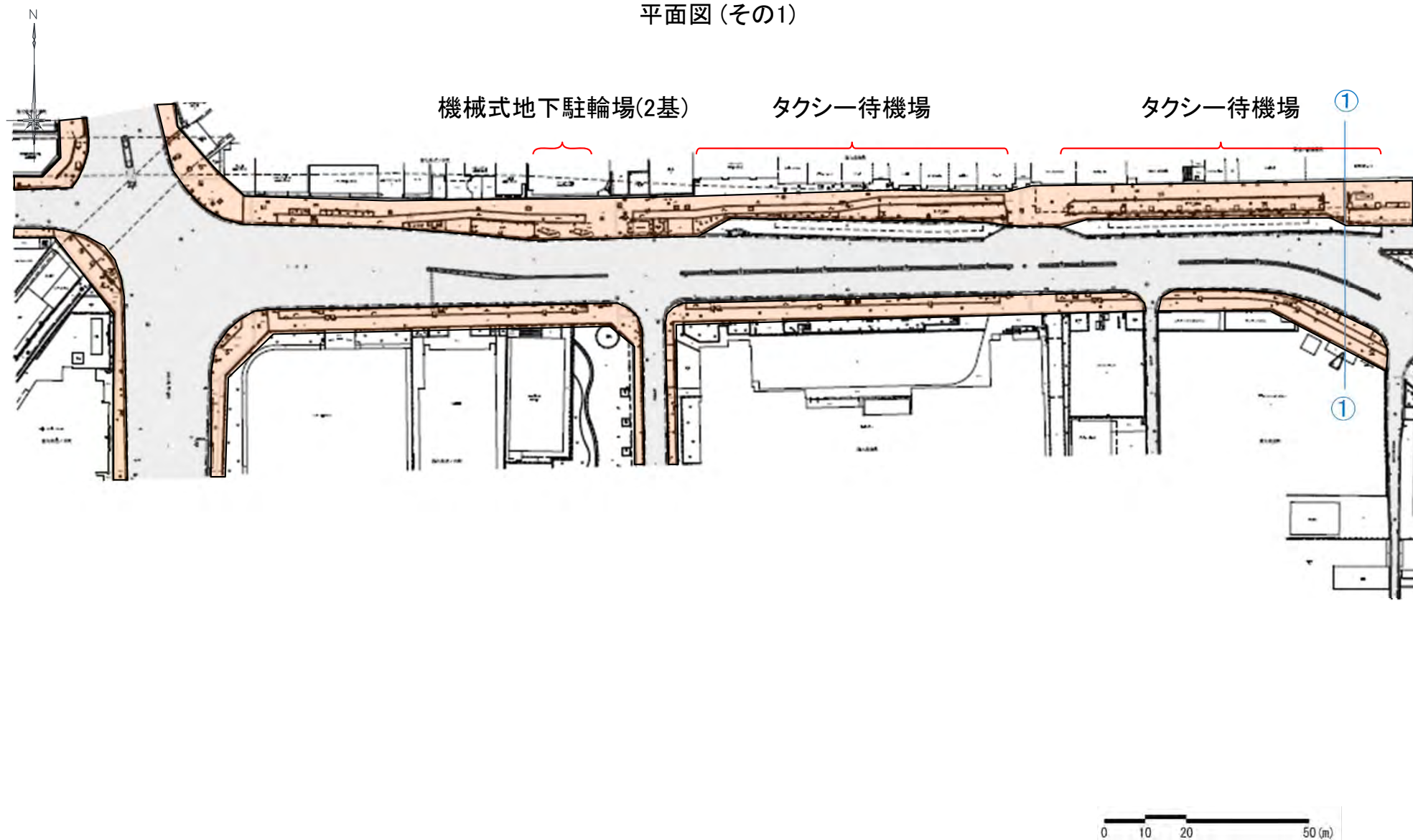
ふりがな 応募者名		きょうとしけんせつきょくどうろけんせつぶどうろけんせつか 京都市建設局道路建設部道路建設課
街路事業	ふりがな 事業の名称	きょうとえきはちじょうぐちえきまえひろばせいびじぎょう 京都駅八条口駅前広場整備事業
	ふりがな 事業主体	きょうとし 京都市
	ふりがな 実施都市名	きょうとし 京都市
	事業概要 (400字以内)	
事業規模		○事業延長:740m ○事業費:約46億円 ○幅員:36m～74m ○事業期間:平成25年度～平成28年度
事業の目的		本事業箇所は、昭和39年の東海道新幹線開業以来、一度も大規模な改修がなく、時代のニーズに合わないものとなっていたため、「①駅中央にバス・タクシーが集中し、輻輳している」、「②ゆとりのない歩道に歩行者が溢れかえっている」、「③路線バス停留所などの各施設の配置がわかりにくい」、「④6車線もある八条通により分断され、京都駅の南側地域との連続性が損なわれている」など様々な課題を抱えていた。 そのため、「①『歩くまち・京都』の玄関口」、「②京都の顔」、「③まちの賑わい」の3点を整備の基本方針として、駅前広場として必要な機能の施設配置の見直し(バス・タクシーの動線分離、ショットガンシステムの導入)や、八条通の車線数の減少、パーキングチケットの廃止により生み出された空間を有効活用するなどの整備を行い、交通の秩序化を図り、安全で円滑に移動できる空間とした。 また、待ち合わせスペースとしても活用できるみやこ夢てらすの新設やサンクンガーデンの改築などを行い、京都駅南側地域への新たな賑わいを創出できる空間を確保するとともに、京の駅前庭園として四季の彩り、香りを盛り込んだ京都らしい憩いの空間を創造した植栽を行った。 ＜整備の特徴＞ ① 公共交通の利便性の向上…「分散されていた路線バス停留所を駅正面に集約」、「雨に濡れずに乗継ができる屋根の設置」など ② 快適な歩行者空間の創出…「バリアフリー対応の歩行者空間の整備」、「自転車通行環境の整備による歩行者空間との分離」など ③ 限られたスペースの有効活用…「八条通の交通量を踏まえた車線数の見直し」、「地下空間を有効活用した駐輪場の採用」など
事業効果		- 円滑な交通の確保…平面での移動に重点を置いた整備としたことで、バリアフリーに優れた空間を確保するとともに、駅中央にバス・タクシーを分離し、不足スペースは隔地駐車場からのショットガンシステムや予約制を導入し、交通秩序化に寄与した。 - 交通安全性の向上…八条通の車線数の減少による歩行者の横断距離の短縮や歩車分離信号を導入することで、交通安全性が向上した。 - 公共交通の利便性の向上…路線バスと鉄道とののりかえ時における移動距離を短縮することで、公共交通の乗継利便性が向上した。 「たまり空間」としての機能の付加…上屋の整備により雨に濡れずに待ち合わせができたり、京都らしい憩いの空間を創造した植栽を行ったことで、観光都市・京都の玄関口にふさわしい空間の創出に寄与した。 - 土地利用の促進…八条通の平面での移動が容易になり、京都駅南側地域におけるホテルの建築など、土地利用の促進に寄与した。
地元対応等	・地域住民との協働等 ・事業反対等があったか ・合意形成等を図ったか ・地域に配慮した点	・駅前広場のリニューアル計画(基本方針など)に関するパブリックコメントの実施(平成22年4月～5月) ・駅前広場の施設配置に関するパブリックコメントの実施(平成22年7月～8月) ・駅前広場の整備計画の策定(平成23年3月) → 都市計画変更(平成25年5月) ・地元住民や関係機関、関係事業者が参画したエリアマネジメント会議の開催(平成25年12月～) ・起工式典(平成26年11月) ・機械式地下駐輪場の供用開始(平成27年2月) ・第10回「みどり香るまちづくり」企画コンテスト 日本植木協会賞受賞(平成28年2月) ・京都駅八条口のプレオープン(みやこ夢てらすとその周辺の供用開始)(平成28年3月) ・京都駅八条口のグランドオープン(平成28年12月)

事業位置図



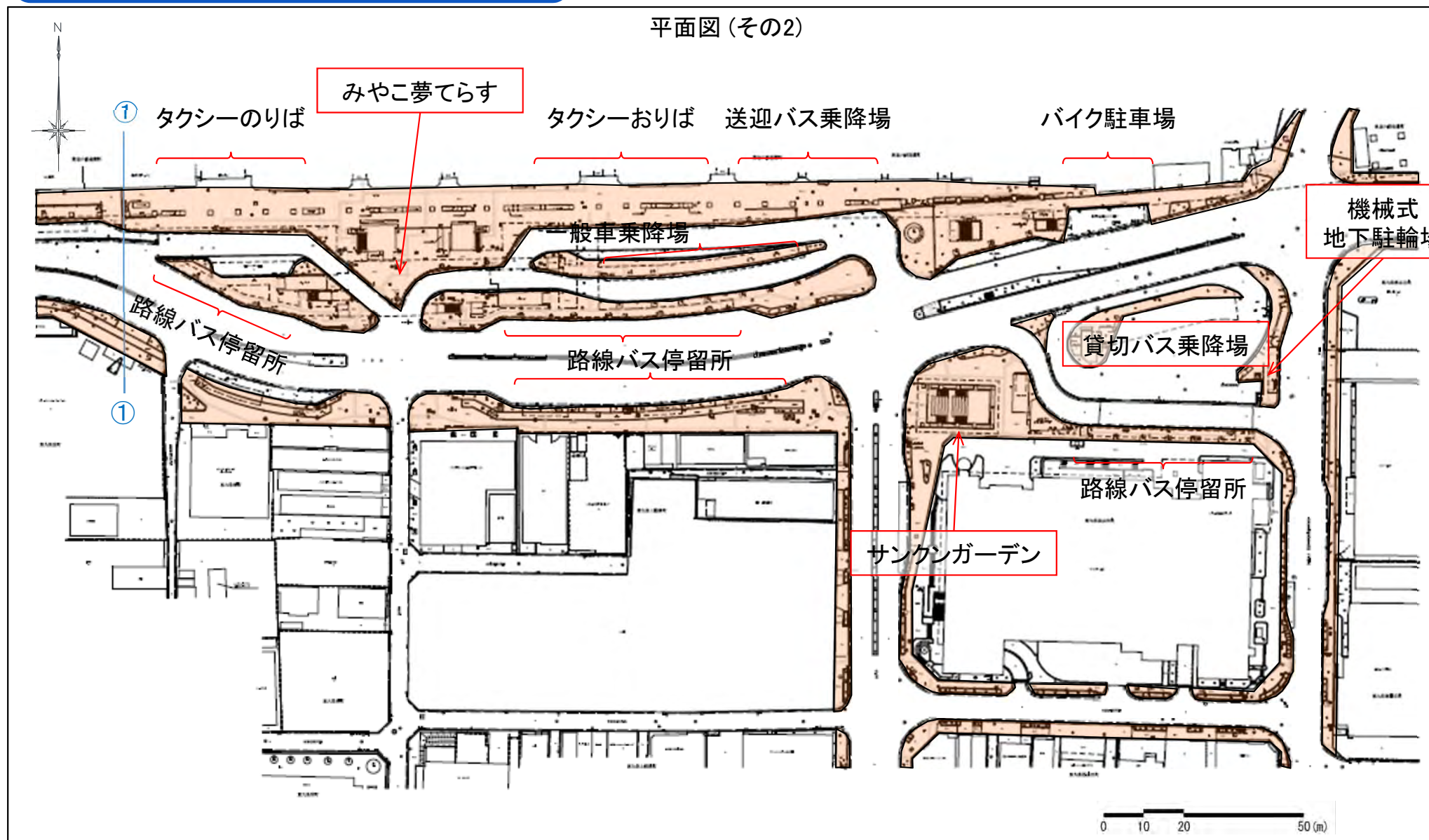
全体図（平面図）

平面図（その1）



全体図（平面図）

平面図（その2）



全体図（施設配置図）

ア みやこ夢てらす

大屋根によるシンプルなデザインは、まちの玄関である京都駅八条口における「門」を象徴的に表現。南北自由通路と直結し、階段、エスカレーター4基（東西に各2基）、エレベーター3基を備えています。路線バスのりばや一般車送迎スペース等へ雨に濡れることなく直接アクセスできます。



イ 駐輪場・バイク駐車場

限られた空間を有効活用し、地下空間を利用した高い収容能力をもつ機械式地下駐輪場を京都府内で初採用しました。機械式地下駐輪場に入庫できない自転車などのため、地上部にもまちかど駐輪場を整備。バイク駐車場についても平成28年10月にリニューアルオープンしました。

＜八条駅前南側付近＞
機械式地下駐輪場（2基/408台）
まちかど駐輪場（240台、定額専用38台）
＜アパシティ前＞
機械式地下駐輪場（1基/204台）
＜八条口南＞（東山IC南側北西方向）
バイク駐車場（原付52台、自動二輪6台）



オ 路線バスのりば

路線バスや高速バス等のバス停を駅正面に集約。鉄道との乗り換えが多い市内路線バスを拠点広場「みやこ夢てらす」から近い位置に配置するなど、公共交通の乗り継ぎの利便性を向上させています。また、雨天時でも雨に濡れずに乗り継ぎができるよう屋根を設置しています。



イ タクシーのりば・おりば

乗降場をのりば（駅正面西側）とおりば（駅正面東側）に分離。また、タクシーをスムーズにのりばへ誘導するため、のりばの西側にタクシー待機場所を整備しました。さらに、のりばから離れた場所に待機場所を設け、駅前のタクシー待機場所の空き状況に応じてタクシーを送り出すショットガン方式を導入。八条通へのあるれ出しを防ぎます。



PICK UP

ショットガン方式とは？

タクシーや観光バスの待機場所を京都駅から離れた場所に設け、駅前の乗降場等の状況に応じて、自動的に待機場所から車両を送り出す方式です。待機場所は京都駅から約2.4kmの鴨川西ランプの高架下に設けており、タクシー約70台、観光バス約40台が駐車可能です。



ウ 送迎スペース

八条通の車線数の変更（6車線→4車線）、パーキングチケット駐車場の廃止により、障害のある方をはじめ、一般車や送迎バスの乗降スペースを駅正面東側に整備。雨天でも利用しやすいよう屋根を設置しました。



カ 貸切バス乗降場 2016.12 RENEWAL

乗降場はタクシーの経路と分離してアパシティ前に整備。規模は2倍（6台→12台）に広がっています。雨に濡れないよう上屋を設置したほか、乗降場に隣接して階段やエレベーターを備え、利用者がサンクンガーデンや地下街等へ直接アクセスできます。また、のりばから離れた場所に観光バスの待機場所を設け、ショットガン方式を導入。バスの路上待機を防ぎます。

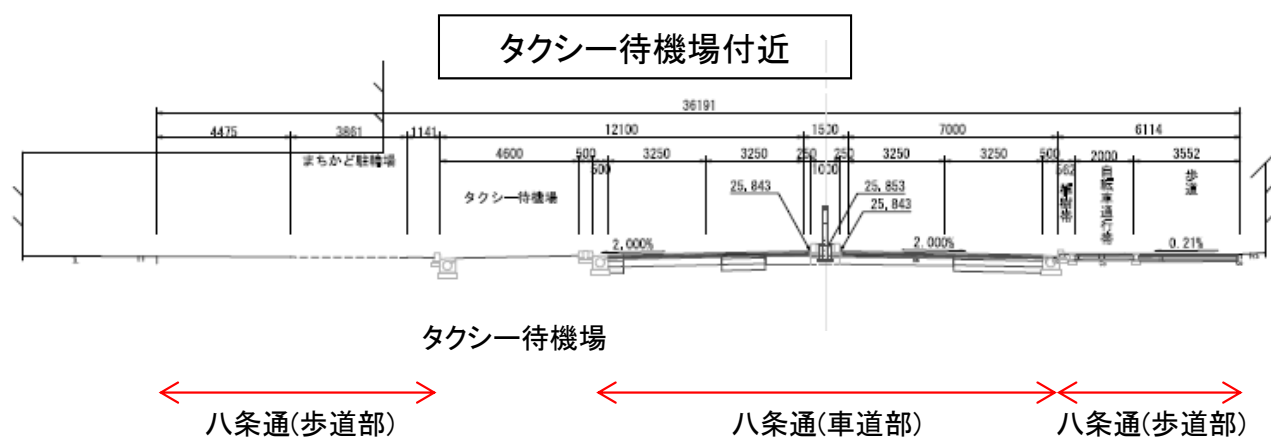
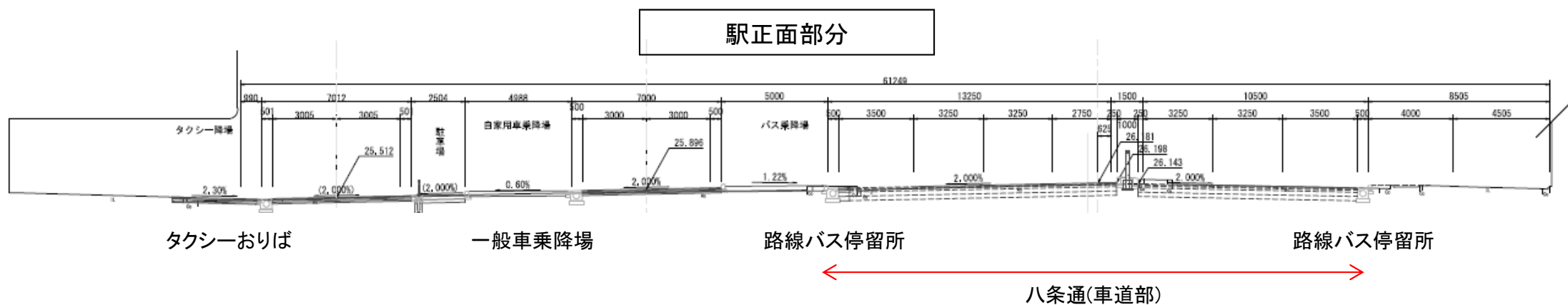


キ サンクンガーデン 2016.12 RENEWAL

貸切バス乗降場のすぐそばに上屋と大階段を整備。修学旅行生など約300人がバスを待てるスペースを確保しました。また、地上部にトイレを設置するとともに、水飲み場やドライミスト設備、サンクンガーデンと地上部を結ぶ2基のエスカレーターを設置しています。



全体図（標準横断図）



事業前写真



(1) 八条通(歩道)
(ゆとりのない歩道)



(2) 八条通(車道)
(タクシーの待機により機能していない車道)



(3) サンクンガーデン
(雨天時は利用ができない空間)



(4) 路線バス停留所
(上屋がなく、狭い停留所)



(5) 貸切バス乗降場
(容量を超えた運用となっている乗降場)

事業後写真



(1) 機械式地下駐輪場
(省スペースで収容力の高い駐輪場)



(2) みやこ夢てらす
(路線バスなどとのりかえに便利なデッキ)



(3) サンクンガーデン
(貸切バスの待合所としても活用可能)



(4) 八条通(車道)



(5) 路線バス停留所
(上屋のある停留所を駅正面に集約)



(6) 貸切バス乗降場
(停車できる規模を倍増し、上屋も新設)

京都駅八条口駅前広場整備事業の整備効果アピール資料

円滑な交通の確保（歩行者）

平面での移動に重点を置いた整備にするとともに、新設したみやこ夢てらすやサンクンガーデンにエレベーターやエスカレーターを整備して、上下移動も円滑にした。

エレベーター

4箇所 → **8**箇所

エスカレーター

2箇所 → **5**箇所



みやこ夢てらすのエレベーター

円滑な交通の確保（自動車）

路上に停車していたタクシー、貸切バスのための待機場を整備したことで、八条通の自動車交通を円滑にした。



タクシー待機場

待機車両と分離した八条通本線

交通安全性の向上

八条通の横断箇所の追加



八条通の地上部に新設した横断箇所

4箇所 → **7**箇所
←新設した横断歩道（烏丸八条）

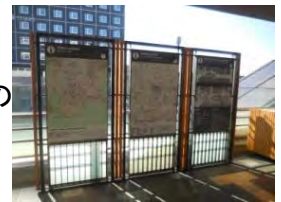
車道の縮小による
横断歩行距離の短縮

約 **27** m → 約 **18** m

サインの追加設置

23箇所新設

駅前広場や駅周辺の案内を八条通の各所に設置



公共交通の利便性の向上

路線バス停留所を駅正面に集約し、鉄道とバスののりかえ時の移動距離を短縮し、公共交通の乗継利便性が向上した。

駅と直結！



路線バス停留所

京都駅

「たまり空間」としての機能の付加

みやこ夢てらすやサンクンガーデンを雨に濡れずに待ち合わせができる空間や京都らしい憩いの空間を創造した植栽により、京都の玄関口にふさわしい駅前広場とした。



みやこ夢てらす

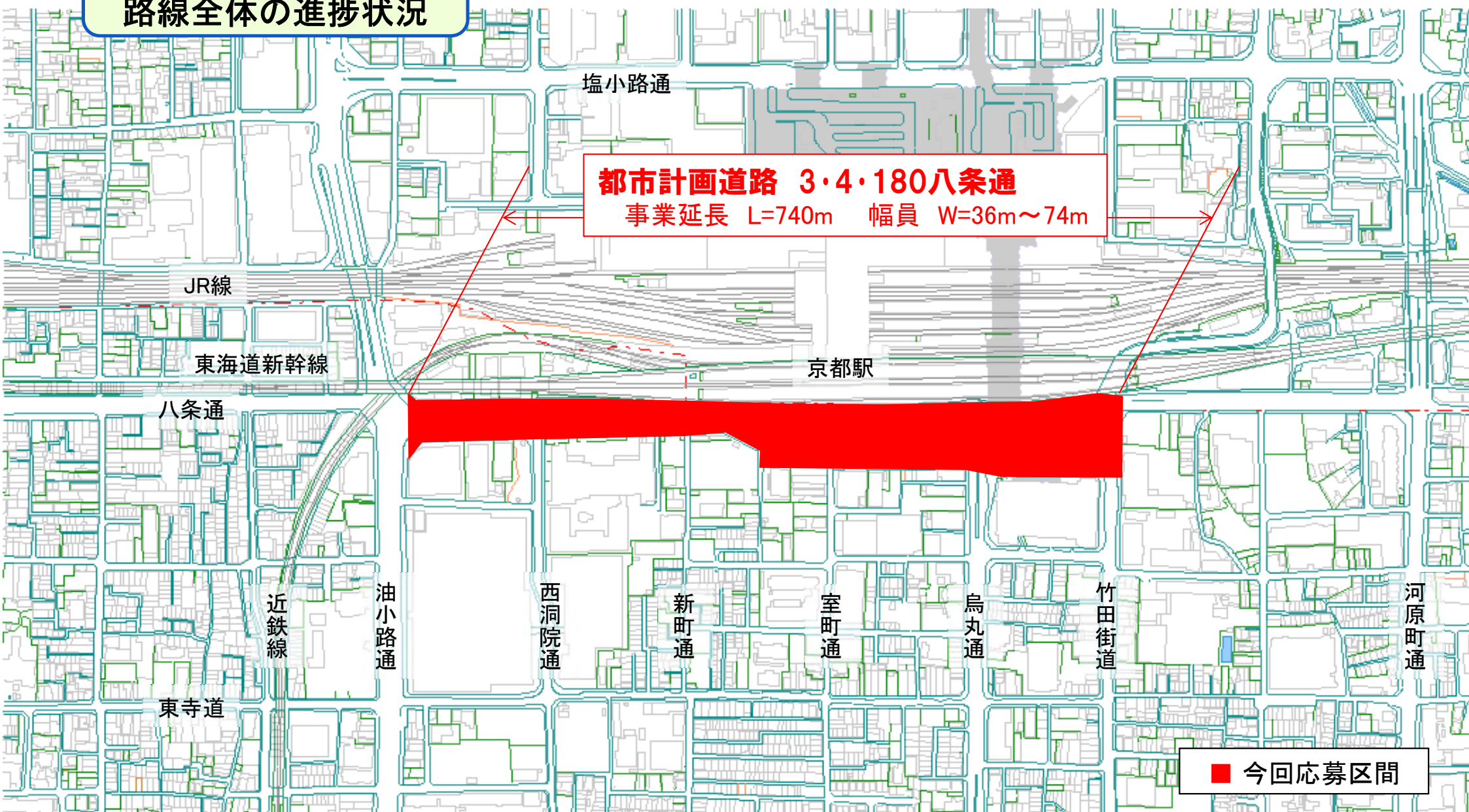


サンクンガーデン



四季の彩り、香りを盛り込んだ
京都らしい植栽

路線全体の進捗状況



都市計画図

